企画展 **弥生人といきもの 2022**

シカをねらえ！

弥生時代と朝日遺跡について、みんなにもっと知ってもらいたい！そんなミュージアムの想いをお届けする、弥生人と「いきもの」の関係から、小学生にもわかりやすく、弥生時代を読みとく展覧会の第2弾です。

今年の「いきもの」はシカ！弥生時代の人々にとって最も重要な動物、それがシカでした。人々は弓矢でシカをとらえ、肉は食料に、角と骨は様々な道具やアクセサリーの材料にしていました。さらにシカは豊かな実りをもたらす霊的な動物と信じられ、肩の骨は占いに使われ、多くのシカの絵が土器や銅鐸に描かれたのです。

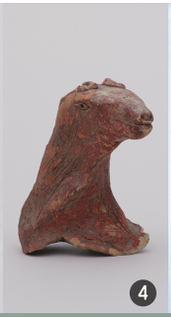
「探検ブック」のクイズを解きながら、展示室をめぐってみてください。きっともう少し、弥生時代が身近になります。

①絵画土器（矢が刺さったシカ）　清水風遺跡（田原本町教育委員会蔵）
②石鏃が刺さったシカの骨　朝日遺跡（重要文化財、当館蔵）
③シカ角製の銛　朝日遺跡（重要文化財、当館蔵）
④シカ形土製品　玉ノ井遺跡（名古屋市博物館蔵）
⑤絵画土器（シカと建物）　唐古・鍵遺跡（重要文化財、田原本町教育委員会蔵）
⑥卜骨　朝日遺跡（重要文化財、当館蔵）


1


写真提供：奈良文化財研究所 2


3


4


5


6

8月6日（土）講演会

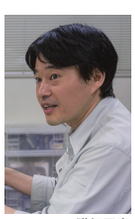
「朝日遺跡とシカ」無料

定員50人　要事前申込み　申込期間 7月12日（火）～7月24日（日）

■会場 / 本館（研修室）
■時間 / 13:30～15:00
■申込方法 / ミュージアム受付又は公式WEBページから

講師：山崎 健（やまざき たけし）
（奈良文化財研究所 環境考古学研究室長）

朝日遺跡では、たくさんの動物の骨が出土し、その中にシカも数多く含まれていました。また、シカの角や骨を素材とした道具も見つかっています。朝日遺跡の人々にとってシカはどのような存在であったのか、考えてみたいと思います。


講師写真

9月10日（土）講座ヒストリーカフェ

「シカをめぐるお話」無料

定員25人　要事前申込み　申込期間 8月16日（火）～8月28日（日）

■会場 / 本館（研修室）
■時間 / 13:30～14:30
■申込方法 / ミュージアム受付又は公式WEBページから

講師：田中 恵美（たなか えみ）
（あいち朝日遺跡ミュージアム学芸員）

土器や銅鐸に描かれた弥生時代のシカは、現代人の目にはつたない表現に見えますが、実はシカの特徴がよくとらえられています。天然記念物「奈良のシカ」の写真を交えつつ、展示資料をより詳しく紹介します。

※上記はいずれも、申込み多数の場合は抽選といたします。　※展示の観覧には観覧料が必要です。

古代体験プログラム

月替わりメニュー

7月 土・日・祝開催
高坏を作ろう

メニュー作例　各回先着10人
■時間／15:00～（60分）
教材費300円

8月 土・日・祝開催
シカ角アクセサリーを作ろう

メニュー作例　各回先着10人
■時間／15:00～（60分）
教材費100円

9月 土・日・祝開催
おうちで焼ける！ミニ土器づくり

メニュー作例　各回先着10人
■時間／15:00～（60分）
教材費600円

常設メニュー

土・日・祝開催
カラフル勾玉作り

メニュー作例　各回先着10人
■時間／11:00～・14:00～（各回30分）
教材費300円

毎日開催　各回先着10人
火起こし体験
弥生時代の火の起こし方を知ろう

■時間 / 平日13:00～
土日祝10:00～・13:00～
荒天時は中止します。

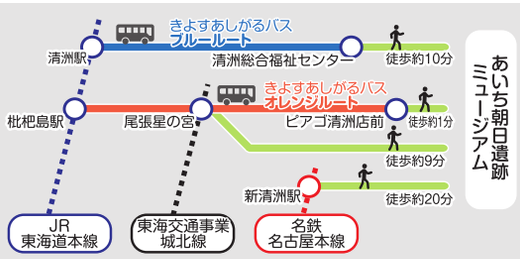
※月替わりメニューは7月2日から9月25日までの土・日・祝日に開催　※ご希望の方は、当日ミュージアム受付にてお申し出ください。

AICHI ASAHI SITE MUSEUM

あいち朝日遺跡ミュージアム

■ 愛知県清須市朝日貝塚1番地 ■ TEL：052-409-1467 ■ 駐車場 15 台

公共交通機関



クルマ

名古屋第二環状自動車道「清洲東IC」から約1分
清洲公園駐車場もご利用いただけます。
駐車場の数には限りがあります。出来る限り公共交通機関のご利用をおすすめします。

